

平成29年度 武雄市立山内西小学校 学校評価計画

<b>1 学校教育目標</b>	<b>2 本年度の重点目標</b>
やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい 輝く 山内西の子	① 基礎基本の確実な定着と活用力(思考力・判断力・表現力)の向上 ② 周りの人を大切にする気持ちの育成

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

**3 目標・評価**

**①基礎基本の確実な定着と思考力・表現力・活用力の向上**

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	● 学力の向上	基本的な学習習慣・態度の定着	・家庭と連携し、家庭学習の目標時間達成80%以上を目指す。	・家庭学習目標時間(低:20~30分以上、中:40~50分以上、高:60~70分以上)を設定し、目標をもたせて家庭学習に取り組ませる。 ・毎月「生活振り返り週間」に取り組み、家庭学習に取り組むよう意識させる。 ・「学力向上だより」を毎月発行し、学校や家庭の取り組みを紹介する。 ・「家庭学習のてびき」を活用し、懇談会や総会、学級だよりなどで学習環境を整えるように保護者に協力を求める。
		基礎基本の定着と活用力の向上	・単元テストで低学年90% 中学年85% 高学年80%以上の正答率を目指す。 ・全国、県学習状況調査の全教科で、学力向上対策評価シートの本校到達目標を達成する。	・児童が理解しやすいように板書やノート指導を工夫する。 ・学び合い活動を取り入れた授業を実践する。 ・習熟度別学習、少人数授業、個別指導を取り入れ、学力の底上げを図る。 ・プリントを使って単元の復習を行い、テストへの意欲をもたせる。 ・「音読タイム」「計算タイム」を計画的に実施し、基礎的な力をつける。 ・思考力を問う問題に慣れさせる。 ・「やる気タイム」では、職員・保護者・地域ボランティアと協力し、補充学習を充実させる。
	● 教育の質の向上に向けたICT利活用教育の実施	ICT機器の効果的な活用	・タブレットの積極的活用により、授業内容の充実を図る。	・校内研でICT機器を効果的に活用した授業を行う。 ・タブレット等の活用方法の研修会を開き、職員のICT機器活用の幅を広げる。 ・算数・理科のスマイル学習の実施率70%以上を目指す。
	○ 読書活動の推進	家読の習慣づけの推進	・家読の習慣化を図り、各学年の年間目標冊数達成率90%以上を目指す。	・全学年宿題として家読に取り組ませる。 ・各学年の音読カードの中に、家読実施のチェック欄を設け、保護者へも協力を呼びかける。 ・図書館便りで学校での取り組みを紹介し、保護者にも関心をもってもらう。 ・年間目標冊数(低:180冊、中:150冊、高120冊)を設定し、多読者を紹介したり、表彰したりして読書を奨励する。

**②周りの人を大切にする気持ちの育成**

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	● 心の教育	支援が必要な児童への対応	・児童一人一人が落ち着いて生活し、「学校が楽しい」と答える児童90%以上を目指す。	・職員連絡会で気になる児童についての情報の共有をする。 ・コーディネーターは日常的に担任等と支援方法を話し合う。 ・情報の共有からケース会議等への支援体制につなげる。 ・事例によってはSC、関係機関へつなげる。 ・要支援児童に配慮した支援方法について研修する。 ・要支援児童に配慮した学習指導や教材を工夫する。 ・個別の支援計画も作成に取り組む。時間を設定する。
		気持ちのよい返事・あいさつ・言葉遣い・話を聞く姿勢・はきもの揃え	・生活振り返り週間(西っ子よこのくらしカード)の自己評価で、できている児童90%以上を目指す。	・低学年(なかよし)は、毎日の振り返りを行い、保護者と協力しながら言葉かけを行う。 ・中・高学年は「生活振り返り週間」に自己評価を行い、意識付けを行う。 ・登校班や委員会別のあいさつ運動を年2回実施する。また、朝会や学校便り等で称賛し、意欲を高める。 ・環境委員会と連携しながら、トイレのスリッパ並べの意識付けを行う。正しい靴の並べ方など朝会等で紹介し、その都度称賛する。
	○ 立腰教育の推進	立腰の時間の徹底・継続	・立腰の時間にきちんとできている児童(自己評価)90%を目指す。	・朝読書の時間から姿勢に気を付けさせ、放送に合わせた指導を毎朝行う。 ・授業前後は、日直の号令で立腰をし、子どもたち同士で声を掛け合わせる。 ・昼休み集合後、準備ができた児童から正座をして待たせ、1分前には全児童が立腰の姿勢で開始の合図を待てるように指導を行う。 ・掃除の振り返りの時間を設け、次につなげるようにする。 ・「生活振り返り」を毎月集計し、全体の様子を把握して指導に生かす。
	● いじめ問題への対応	いじめを許さない環境の構築	・「いじめゼロ 優しさ100」を目指し、「優しいことばを周りの人へ」を意識して行動できる児童(自己評価)90%以上を目指す。	・「教育相談」「いじめアンケート」「先生あのおね」を実施し、毎月、状況把握に努める。 ・毎週の職員連絡会で「気になる児童」の情報交換をし共通理解を図る。 ・「平和を考える週間」「人権週間」を設け、全クラスで授業を実践し、豊かな人格形成を図る。 ・人権意識の育成を目指し、集会や学習の機会を設定する。 ・「ふれあい道徳」への保護者の参観を呼びかける。 ・「ふれあいタイム」の時間で、異学年交流の機会を設ける。 ・教師も子供も「さん、君」をつけて名前を呼ぶ。

**本年度の重点目標に含まれない評価項目・共通評価項目**

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○ 地域とともにある学校づくり	学校教育活動の情報公開	・積極的な情報発信を心がけ、ホームページの掲載記事を毎週更新する。	・西小ニュースの更新を当番を決めて行う。 ・ICT支援員の協力を得て、更新の機会を増やす。 ・職員はHPの更新を意識し各種行事などの様子を記録する。 ・発信したい情報を職員集会で収集する。 ・学校便り、学級通信、その他のお便りで学校の情報を発信する。
		保護者・地域との連携	・ふるさとを大切に思えるように地域の施設や人材等を活用した学習を全学年で行う。	・学校運営協議会を年3回以上開催する。 ・公民館の行事運営と学校の教育活動を連携した取組を行う。 ・地域人材や企業を活用した学習を学期に1回以上行う。 ・婦人会・老人会・黒髪大学等の地域の社会教育団体の協力を得る。 ・浮立や流鏝馬などの児童の活動を観に行ったり、地域行事を考慮した学校運営を行ったりして学校も地域に協力する。
教育活動	● 健康・体づくり	健康な体づくり	・体力向上を目指す取組み(早寝早起き朝ごはん・スポーツチャレンジ・自力登校)目標値を達成する。	・早寝・早起き・朝ご飯の取り組み90%を目指し、習慣化するよう、「西っ子くらしのカード」や「生活振り返りカード」、県の調査等で保護者に協力してもらう。 ・スポーツチャレンジに全学年で1種目以上取り組む。 ・入学式やPTA総会等で保護者に自力登校を呼びかけ、協力してもらい、完全自力登校率90%以上を目指す。 ・地区児童会で集団登校や自力登校について指導する。 ・給食を装った分の完食を目指す。 ・定期健康診断で異常が見つかったものには、治療を促し、治療率(受診率)50%以上を目指す。
		衛生的な生活の意識の向上	・衛生面の意識を高め、清潔検査90%の達成率を目指す。	・清潔検査を毎週月曜日に行い、衛生的な生活を意識させる。 ・保健委員会が清潔検査の結果を全校に知らせ、意識を高める。 ・学級でも、手洗い、うがい、歯磨き等を呼びかけ、習慣化を図る。

●は共通評価項目、○は独自評価項目